

新型コロナの影響における食品ロスの動向についての調査結果

西宮市市政モニターの皆様を対象に 2021 年9～10 月に「新型コロナの影響における食品ロスの動向」について調査を実施し、ご意見をお聞きしました。ご回答して頂きましたモニターの皆様には、厚くお礼申し上げます。

有効回答数	有効回答率
324 件	81.2%

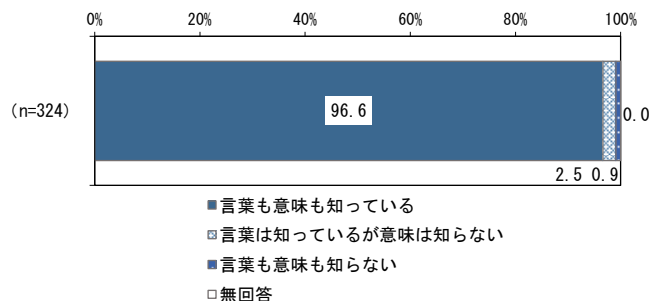
有効回答者の性別（構成比）		
男性	女性	無回答
47.8%	52.2%	0.0%

有効回答者の年代別（構成比）								
10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	無回答
1.2%	8.6%	16.4%	22.8%	23.1%	15.1%	9.3%	3.4%	0.0%

食品ロスについて

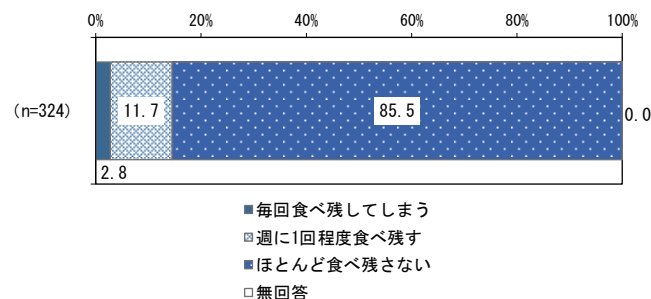
問 「食品ロス」という言葉の意味を知っていますか。
※「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。食べ物を捨てることはもったいないことで、環境にも悪い影響を与えてしまう。

「食品」ロスという言葉の意味を知っているかどうかで最も多いのは「言葉も意味も知っている」で 96.6%、次いで「言葉は知っているが意味は知らない」が 2.5%となっています。



問 あなたが家で食事をする時、食べ残しをするかについてお聞きます。

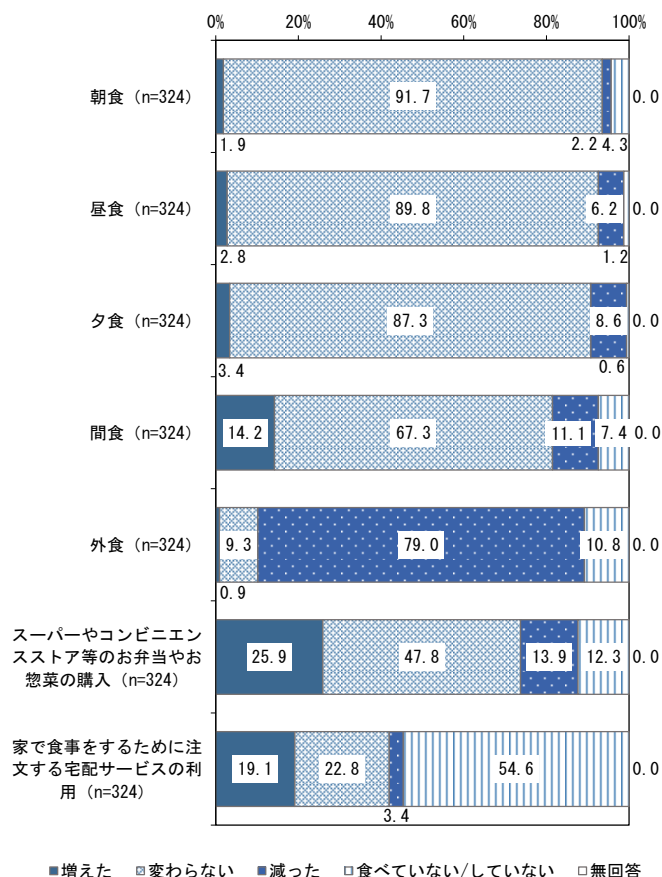
家で食事をする時、食べ残しをするかどうかについて最も多いのは「ほとんど食べ残さない」で 85.5%、次いで「週に1回程度食べ残す」が 11.7%となっています。



新型コロナの影響による食生活や食習慣の変化について

問 新型コロナの感染が拡大する“前”（2019 年）と“後”（2020 年以降）では、それぞれの項目の食習慣や飲食サービスの利用について、「増えた」・「変わらない」・「減った」・「食べていない/していない」のいずれか当てはまるものを選択してください。

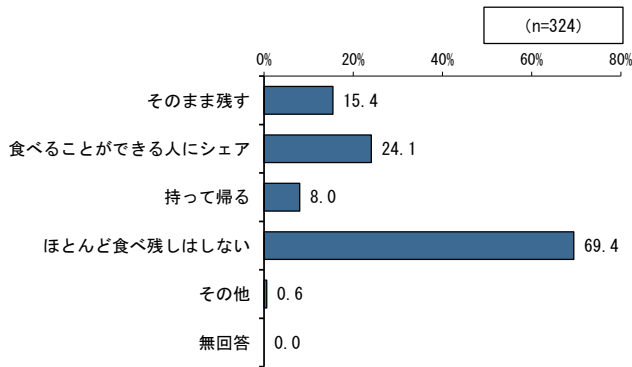
新型コロナの影響による食生活や食習慣の変化について、「増えた」で最も多いのは「スーパーやコンビニエンスストア等のお弁当やお惣菜の購入」で 25.9%、「減った」で最も多いのは「外食」で 79.0%となっています。



※各選択肢の構成比 (%) は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が 100%にならない場合があります。また、「あてはまるものをすべて選んでください」と表記された設問は選択肢の構成比 (%) の合計が 100%を超える場合があります。

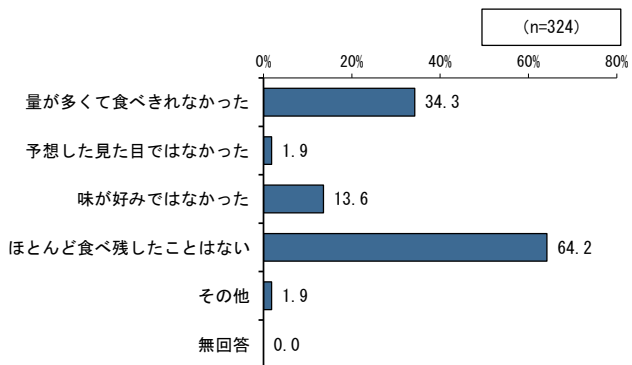
問 あなたが外食で食べ残す時、どのような行動をとりますか。(あてはまるものをすべて選択してください。)

外食で食べ残す時、どのような行動をとるかについて最も多いのは「ほとんど食べ残しはしない」で69.4%、次いで「食べることができる人にシェア」が24.1%となっています。



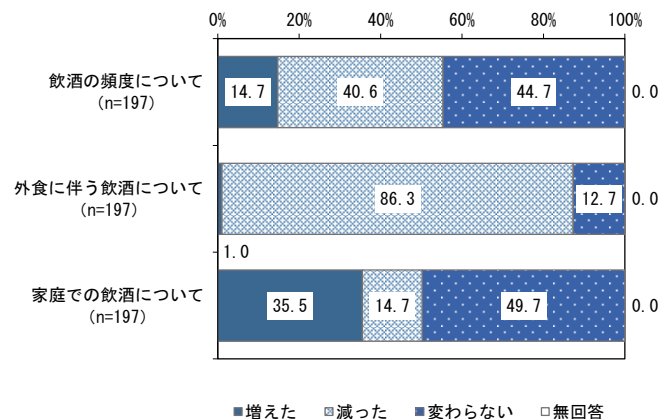
問 外食で、食べ残したことがある人は食べ残した理由等を教えてください。(あてはまるものをすべて選択してください。)

外食で食べ残した理由等について最も多いのは「ほとんど食べ残したことはない」が64.2%、次いで「量が多くて食べきれなかった」が34.3%となっています。



問 飲酒をされる方にお聞きします。新型コロナの感染が拡大する“前”(2019年)と“後”(2020年以降)の頻度(飲酒回数)などについて、「増えた」・「減った」・「変わらない」からあてはまるものを選んでください。

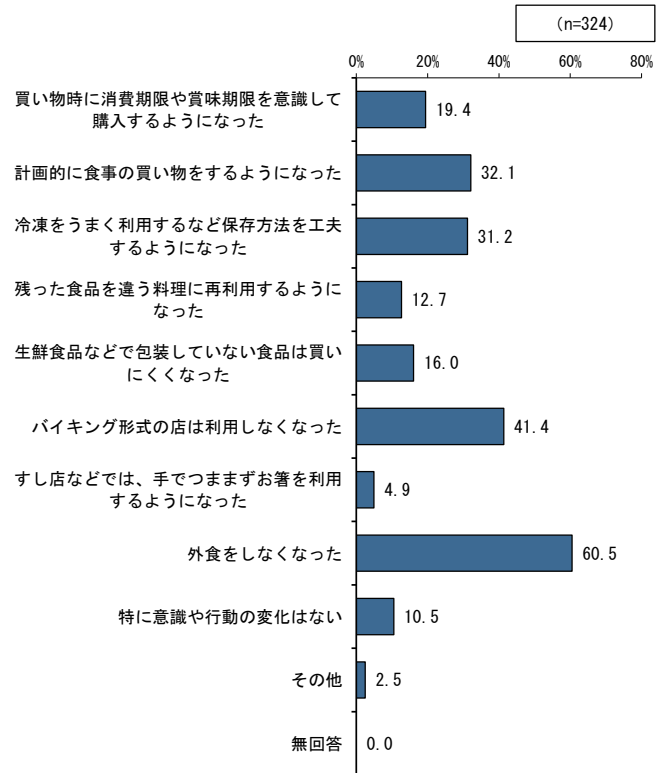
新型コロナの影響による飲酒に関する変化について「増えた」で最も多いのは「家庭での飲酒について」で35.5%、「減った」で最も多いのは「外食に伴う飲酒について」で86.3%となっています。



食品ロス削減対策について

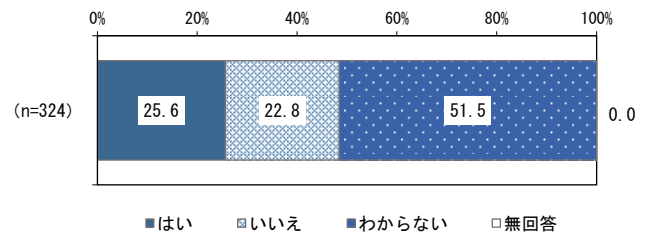
問 新型コロナの感染が拡大する“前”(2019年)と“後”(2020年以降)では、買い物や外食など食品に関わる意識や行動の中で変化はありましたか。(あてはまるものをすべて選択してください。)

新型コロナの影響による買い物や外食など食品に関わる意識や行動の変化について、最も多いのは「外食をしなくなった」で60.5%、次いで「バイキング形式の店は利用しなくなった」が41.4%となっています。



問 コロナの影響が終息した後に、機会があれば食品ロス削減のイベントや勉強会などへ参加したいですか。

食品ロス削減のイベントや勉強会などへ参加したいかどうかについて最も多いのは「わからない」が51.5%、次いで「はい」が25.6%となっています。



※各選択肢の構成比(%)は小数点第2位以下を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。また、「あてはまるものをすべて選んでください」と表記された設問は選択肢の構成比(%)の合計が100%を超える場合があります。